

令和2年予算決算委員会第1分科会会議録

1. 招集年月日 令和2年9月10日
2. 招集の場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 開 会 令和2年9月10日 午後0時58分 分科会長宣告
4. 審査事項

協議事項

1. 予算決算委員会の提言、委員長報告に付すべき意見について

総務企画 所管

①〔計画の見直しについて〕

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、市政経営計画、総合戦略などの市の中心的計画をどのように運用していくのか。今後早期に見直しを行えるよう検討を行ってほしい。

〔特に、市政経営計画の令和3年度の早期見直しを行う必要がある。〕

②〔避難所の整備〕

令和2年台風10号でも問題となったが、避難者の避難所の整備についてキャパシティも含め早期な見直しを。

総務企画・建設市民 所管

③〔災害に対応できる河川や道路の構築〕

自然災害での特にハード面（道路・河川）での対応。自治会要望でもあるので、しっかり対応してほしい。

④〔空き家・空き地対策〕

可児市空き家等対策協議会が空き家と空き地の管理について行ってきたが、今後空き家に重点を移行していく方向性があるが空き地の管理もしっかり対応してもらいたい。

5. 出席委員（6名）

分科会長	天羽良明	副分科会長	大平伸二
分科会委員	亀谷光	分科会委員	富田牧子
分科会委員	田原理香	分科会委員	奥村新五

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

予算決算委員長	山田喜弘	予算決算副委員長	伊藤壽
---------	------	----------	-----

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 宮崎 卓也

議会総務課長 梅田 浩二

議会事務局
書記 土屋 晃太郎

議会事務局
書記 松倉 良典

○分科会長（天羽良明君） それでは、引き続いて第1分科会を始めたいと思います。

今日は予算決算委員長と副委員長と一緒に同席いただいております。

これより予算決算委員会第1分科会を開催いたします。

9月9日の予算決算委員会において、委員から発言がありました内容を基に、本日、分科会の皆様からの御意見をいただき、令和3年度当初予算編成に生かすよう、総務企画委員会所管についての提言を行うように取りまとめていきたいと思います。

予算決算委員会において、総務企画委員会に関係する4つ意見が出されました。

1つ目は、計画の見直しについて、そして2つ目は、避難所の整備について、3番目は、災害に対応できる河川や道路の構築について、4番目は、空き家・空き地対策についてです。3番目、4番目は総務企画委員会と建設市民委員会のほうとも関係する部分ですので、検討があると思います。

この4点をこの分科会で検討していきたいというふうに思っております。

これから皆さんから意見をいただいでいくわけですが、まずは提言として取り上げるかどうかを1つずつ整理していきたいと思っております。そして、取り上げることにしたものの、成文化を後ほどしていきたいと思っております。

また、そのほかに提言として取り上げたいものが皆さんのほうからあれば、その後に御意見をいただきますのでよろしく申し上げます。

それでは、1つずつ御意見を頂戴したいと思いますが、さっき簡単に読んだものを詳しくちょっとこちらで読んでいきます。ちょっと詳しく申し上げます。

計画の見直しということの御意見ですが、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、市政経営計画、総合戦略など市の中心的計画をどのように運用していくのか。今後早期に見直しを行えるように検討を行ってほしいという御意見でございました。

こちらの計画の見直しについて、先ほども総務企画委員会のほうで総合戦略の御紹介の説明もありましたけれども、関係する市政経営計画など市の中心的な計画を早期に見直しを行えるように検討してほしいという申し送りです。特に、市政経営計画の令和3年度のほうもつくってまいりますので、そういったことも見直しを行う必要があるかと思っております。

この点について、総務企画所管として、提言として取りまとめていくかどうか、皆さんの御意見を頂戴したいと思います。御意見のほうお願いします。

○分科会委員（富田牧子君） 必要ないと思いますが、これは。当然そうであれば、そのように行っていかれるでしょうし、具体的内容がないのにこんなことを提言するというほうが変だと思います、私は。

○分科会委員（田原理香君） 先ほどの総務企画委員会でちょうどこの話が出ましたときに、総合戦略の説明の中で酒向企画部長のほうから、今、優先順位も併せて見直しを図ってということをやっている最中と、もしそれを出していくというふうにおっしゃっていたので、あえてここで出す必要はないんじゃないかなと思えました。

○分科会長（天羽良明君） ほかの方の御意見はいかがでしょう。

去年はこの分科会のほうに8つの提案がありまして、その中で2つつくったときに、各ほかの分科会からもちょうど2つずつになったもんですから、全部で6つ提言させていただいております。この1番、2番に関しては、この総務企画委員会の関係になります。その中の一つという形で、この計画見直しということですが、いかがでしょうか。今、2人はそういった御意見です。

○分科会委員（亀谷 光君） やっぱり非常に抽象的だというか、ちょっと先が見えない状態を、今の状態で、我が分科会で言うのはちょっとどうかなとも思うんです。

○分科会委員（富田牧子君） やっぱり議会として提言を行うということは、なるほどなあとか執行部が思ってくれるようなことを提言しないと、こんな当たり前のことを言って、私は議会としてちょっと恥ずかしいと言ったらちょっとあれですけど、なるほど、そうだと思ういただけるような提言をすべきだと思うので、当たり前はやめたほうがよいと思います。

○分科会長（天羽良明君） 副分科会長のほうでちょっと取りまとめのほうをさせていただいておりますが、御意見のほうも。

○副分科会長（大平伸二君） 取りまとめと言われると、第1分科会として計画の見直しについては、執行部等も重々策定して研究していますので、提言に結びつける必要はないという御意見だとお聞きしていました。何もまとめてもございません。以上です。

○分科会長（天羽良明君） 奥村委員はどうでしょうか。

○分科会委員（奥村新五君） 非常に抽象的で、どこをポイントにするかというのに困る文字が並んでいるなということを感じます。

○分科会長（天羽良明君） 皆さんのほうはそういった今御意見が多かったんですけど、さっきの総合戦略の説明のときに田原委員も言われた、今後は新型コロナウイルスの感染症の影響分析や、国・県の計画等が明確に変更になった時点で見直しを検討してまいりますというような回答も総合政策課長からありましたので、計画の見直しというのが大切なことだと思いますが、これを成文化することについて委員の皆さんはちょっとふさわしくないという御意見が多かったような感じが今しましたので。

予算決算委員長、ちょっとコメントをいただければ。

○予算決算委員長（山田喜弘君） 当然計画を見直すということですがけれども、もしあれならなぜ見直さなければならないか、前提条件が今までとどう違うのかみたいなことはしっかりと説明していただきたい。歳入が落ち込むのは落ち込むので、それは令和3年度に対してどの程度落ち込むことが予想できるかどうかはあれですがけれども、もともとの市政経営計画の重点方針4つの柱を進めるための予算立てしているわけで、可児市としては、総合計画なしでこの4年間で成し遂げなければならないことが全部書いてあるんだけど、コロナの影響でできないというならば、しっかりと計画を見直して、それをきちんと議会に説明をしてもらいたいというふうに思っております。提言をよしんばしないとしても、きちっと議会に報告はしてもらいたいというふうには思っております。

できるならそういうことを、大方は当たり前なので、当たり前のことを本当に議会にきちんと説明しているのかということだと思います。今日の総務企画委員会での企画部長の説明も前提が変われば変えますよという、その変わるならいつ変えるんだということをしかりと説明をしてもらいたいと思います。それでも、今言ったみたいにあえて成文しなくてもいいということならば、それはそういうことだと思います。

○分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

計画を見直すということについて、成文化をするかしないかというところですけども、気持ち的にはみんな、計画の変更があったら見直しをしたほうがいいというのはあると思うんですけど、成文化はちょっと難しいかなという御意見が多かったんですが、この1つ目については、提言という形をもし取るという場合に、一応私が案をちょっとつくっては来ましたので、一度それを聞いていただいて、こんなのではということであればまたやめておいていこうかなと思いますが、ちょっとずつ出ますか、画面に。

〔発言する者あり〕

暫時休憩で。

休憩 午後1時07分

再開 午後1時09分

○分科会長（天羽良明君） それでは、分科会を再開いたします。

この1つ目の提言について、どのようにするということを決めたいと思いますが、皆さんの意見は、先ほど1つ目を提言にしなくてもという御意見が多かったので、そのようにさせていただこうと思いますが、いいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

それでは、1つ目のほうは提言としないという形にさせていただきます。

続いて2つ目、避難所の整備についてですが、令和2年台風10号でも問題となったが、避難者の避難場所の整備について、キャパシティーも含め早期に見直しをという御意見でございました。この点についてはいかがでしょうか。取り上げるか、取り上げないか。

○分科会委員（富田牧子君） ちょっとやっぱり言葉足らずなんで、もうちょっと言葉を補ってきちっと整備をして、ちょっと飛んで悪いですけど、2と3を一緒に1つの提言に、特に防災ということでしたらいけばあれかなと思うんです。4は関係ないしね。4の空き家は関係ないもので、私たちの分科会。

だから、台風10号でも問題となったというか、新型コロナウイルス感染症で密になるのを避けるということで、その避難所の在り方が問題になっておるということですよ。今の時代に合った避難所を整備していくということをキャパシティーも含めてというのはそういうことだと思うんですけど、整備をもっと進めていくとか何とか。それと同時に、やっぱり最近の自然災害がかなり厳しい状況でありますので、ちょっとごめんね、3のところも話しているけど、自治会要望もあるのでとか、こんなことはのけて、そんなことは……。

[「これは意見ですので」の声あり]

はい。一応このまま。

対応をしてほしいという、災害に対応できる河川や道路の構築という、そこら辺も一緒に提言にしたらどうでしょうかと思いますが、何もないとちょっと寂しいでしょう、うちの分科会も。1つぐらい欲しいよね。

○分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

取りあえず2番目のほうは提言という形で取り上げてもいいという御意見でしたが、ほかの皆さんはいかがでしょう。

田原委員、どうでしょうか。

○分科会委員（田原理香君） 今おっしゃいましたように、とにかく今回のコロナ禍の中で、やはりもう一回避難をするというところについてもう一回整理をし直すということ。これまでは、体育館だったり、密になってということもあったんですけど、そうじゃなくて、みんなで寄り添って、じゃあみんなということではない、やっぱり最初の文字の中で、コロナ禍の中で、本当に避難所についてしっかり整備をするということが書いてあればいいかなと思います。その前に、要はコロナ禍でということに改めて見直しを図るとか整備をするとかということが書かれてある文言であればいいかなと思います。

○分科会長（天羽良明君） 分かりました。ありがとうございます。

皆さんも2番目は取り上げるというふうでよかったでしょうか。

[「はい」の声あり]

それでは続いて、総務企画委員会所管と建設市民委員会所管と両方に関係する、災害に対応できる河川や道路の構築ということで、自然災害での特にハード面（道路・河川）での対応。自治会要望でもあるので、しっかりと対応をしてほしいというこちらのほうなんですけど、どういかがいたしましょうか。単独で取り上げるか、それとも今、富田委員のようなお話もありましたので、ドッキング型という御意見も先ほどはいただいております。どうでしょう。3番目をまずは単独で取り上げるかどうかということに関してはいかがでしょうか。

○副分科会長（大平伸二君） 意見が出ませんので、先ほど富田委員が言われたように、この文言で言うと建設市民所管の意見が出されていますが、総務企画の所管としたら、2番の避難所整備、防災力の向上に努めるとかその文言の中に入れられれば対応できるのかなあと思っていますが、あえて3番だけ突出して取り上げる必要はないのかなあと思っています。以上です。

○分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

○分科会委員（田原理香君） 先日のハザードマップの説明があつて、そのときに市の方々がやはり地域のどこが危ないのか、危険箇所というのをそれぞれ地域の人たちにもよく把握してもらおうということが文言でありました。やっぱりこのコロナ禍の中で改めそれぞれ地域が危険箇所だったり、避難所だったり、改めて本当にそういうのも併せて見直すということで出されるといいのかなと。本当にどこが危なくて、どこが何とかで、じゃあ避難所はどうい

うふうにしたらいんだということをもう一回それぞれの地域地域の実情に沿ったところで見直しを図ってほしいというふうなところでどうでしょうか。

○分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

それでは、3番目については一応単独では取り上げないという形で、2番目と3番目を合体してつくりたいというふうに思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

それでは、4番目の空き家・空き地対策について。可児市空き家等対策協議会が空き家と空き地の管理について行ってきましたが、今後、空き家に重点を置いて推移していく方向性があるが、空き地の管理もしっかりしてほしいという御意見をいただいております。こちらのほうはどうでしょうか。御意見を頂戴したいと思います。まず、大平副分科会長にちょっとコメントをいただいて。

○副分科会長（大平伸二君） 僕がこれ意見を述べさせていただいたんですが、空き家・空き地対策については、空き家・空き地の条例等の所管はこの委員会なんですけれども、実質はこの対策については建設市民委員会の所管なので、あえてここでちょっと所管が書いてあるんですが、これ条例を変えるということでもないようですので、今ここで取り上げる必要はないのかな。この第1分科会で取り上げるとしたら、予算決算委員長に空き家・空き地対策をしっかりとやってくれというふうに委員長報告で言うていただくぐらいで僕はいいのかなと思っていますけど、いかがでしょうか。

○分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

○分科会委員（富田牧子君） 空き地対策と云ったら、やっぱり環境に関係してくるものだから、もうここではないというふうに思うわけですよ、空き家もそうだけど。大平副分科会長が言われたように、これは取り上げなくてもというか、建設市民の分科会でやっていただいたほうがいいんじゃないですか。

○分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

建設市民の分科会に大事に送りたいというふうに思いますので。

○分科会委員（田原理香君） 私もそれでいいと思います。

ただ、こういうざっくりじゃなくて、本当にこういう空き家・空き地を管理していく上では、やはり情報が本当に知らせる人、知る人のところにしっかりと情報共有が行き渡っている、連携が取れている関係のそれぞれ不動産屋とか、欲しい人とかというところのしっかりと連携が取れているかということが一番の要になると思うので、その辺も文書には全然必要ありませんけれど、もしそういったことをお伝えいただけるのであれば、お伝えいただけるとありがたいです。

○分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

そういった御意見が出たという形です。

ほかに御意見はございませんか。

〔挙手する者なし〕

では、4番目については建設市民委員会所管の第2分科会に送りたいというふうに当分科会では決めたいと思います。

それでは、当分科会としては2番目を重きに置いて、3番目と2番目を合わせた形を成文化していきたいと思います。

それでは、成文化に入る前に少し休憩を取らせていただいて、ちょっと文章みたいな形してから再度委員の皆さんから御意見いただきたいと思いますので、10分ほど休憩いただいて、1時35分まで休憩をお願いしたいと思います。

休憩 午後1時20分

再開 午後1時33分

○分科会長（天羽良明君） それでは、第1分科会を再開いたします。

先ほど4点のうち2つを、2と3をまとめてつくるという形の作業に入るんですが、そのほかも皆さんからこの分科会として提言すべきことがあればということをお聞きを忘れておりましたので、その他はいかがでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、その他は今のところはないという形で、2番と3番をまとめることに集中したいと思います。

それでは、この避難所の整備と自然災害について、どういうものを成文化の中に取り入れたらいいかという御意見を賜りたいと思います。

先ほどさらっと流していくときには、新型コロナウイルスの感染症のための新たな避難所の在り方というような形の御意見もいただいております。また、地域の方々に危険箇所なども……。ちょっといろんな角度から考えて成文化をしていきたいと思います。

○副分科会長（大平伸二君） 「大規模災害に備えて、新型コロナ禍における避難所運営の在り方を検討し、災害に強い河川、排水、道路の整備に努めること」、これでいいって。

○分科会長（天羽良明君） そうですね、今、松倉さんがちょっとつくってくれた文章を下に皆さんから御意見を。

○分科会委員（富田牧子君） その排水というのは、この間どこかの話が出ておったから。

○議会事務局書記（松倉良典君） どこかの話もあるし、台風や豪雨でよく道路に水があふれるとかの問題が起きている。特にこの提言の最初の意見にあったのが、台風10号と言っていたので、排水路から水があふれることもあるのかなあということで入れただけなので、それは皆さんで考えていただいて取ってもいいと思います。

○副分科会長（大平伸二君） 雨水排水の悪いところがまだ数か所あるということですね。

○分科会長（天羽良明君） 具体的でいいと思いますね。排水が入るのは。

○分科会委員（富田牧子君） いいと思います。

○副分科会長（大平伸二君） 大規模に備えて、新型コロナ禍における避難所の運営の在り方を検討し……。今、防災計画の見直しで避難所の運営の仕方の見直しをもうやっておるよね。

○議会事務局長（宮崎卓也君） 一旦作成はしているんですけど、今検討中。検討というか検証中。できているので、できているのをまた検証中という、だから完成形ではないということですね。ただ、もうできているので、使えることは使えるけどということですね。第1案ということで5月25日には一応できてはいるんですけど、さらにこれを検証して、より高めていくという作業をやっているみたいなので。

○分科会委員（田原理香君） ちょっとお聞きするだけですが、「コロナ禍」というのと「新型コロナウイルス」という、「新型」を入れるというのはどちらがいいんですかね。

○議会事務局書記（松倉良典君） 新聞等でもコロナ禍と言っていますよね。だから、取ってもいいですよ。

○分科会委員（田原理香君） 「コロナ禍」で、「新型」はなくてもいいかなと思います。

○副分科会長（大平伸二君） コロナ禍であっても、コロナだけで、感染症ってほかにもありますもんね。

○分科会長（天羽良明君） 「など」ということですか。

○副分科会長（大平伸二君） 「など」をつけるのか。コロナに限定しての文章でいいのかという。私は語学力がそう、文章力もありませんので、その辺先生のほうで。ただ、限定した言い方より、「など」のほうがいいんじゃないかということだけでも。

○分科会委員（富田牧子君） 取りあえずは新型コロナじゃないですかね。これをやればきつとほかの感染症だってそういう内容がもうちょっと進化してきたりとかさ。

○副分科会長（大平伸二君） 私はあまりこだわりませんので、皆さんで決めてください。

○分科会長（天羽良明君） そうですね。どうですか。

一応、昨日、防災安全課の今日の国土強靱化地域計画の説明に来ていただいていた課長さんに、今現状で難しい点がないかということで、先日、9月6日は防災訓練を各地域で自治連合会さんと市と一緒にやっているんですけど、その際には何をやったかという、熱のある方はこっちの部屋、じゃあ大丈夫です、こっち、熱のある方はこっちですというような形でやはりキャパシティの問題というのはあるなど。これから、先ほど田原委員が言われたような地域という形での実質の訓練になっていくようにこれからしていかないかというところで、まずは今スタート地点を切ったという状況ですね。

あと、補正予算とかで備品等、パーティションとかトイレとか防護服とかを買っているわけですが、避難所で使うものというのは、ふだんは保管場所があればあっただけいいわけなんですけど、たくさんの人数を手当てするということを想定しなければいけないわけなんですけど、反面、倉庫とか保管スペースというものがこれからどうしたらいいかというところも一つあるみたいですよ。備品関係ですね。

○議会事務局長（宮崎卓也君） 「大規模災害に備えて」というのは両方に係るので、「大規模災害に備えて」で「、」を入れてください。「コロナ禍における避難所の在り方を検討し」と言っていますが、もう既に実際、マニュアルは一回できているので、それを今検証しているという最中なので、「コロナ禍における避難所の運営の在り方を早急に検証し」なん

ですけど、「し」だとまた後ろとつながりが悪いので、「早急に検証するとともに、災害に強い河川、排水、道路の整備に努めること」にしてはどうでしょうかというところですが。

○分科会長（天羽良明君） ありがとうございます。

それでは、今きれいにまとめましたので、こちらのほうを当分科会としては予算決算委員会に送りたいと思います。

また、気がついたことがあったりすれば、まだ日にちはございますので、微調整を正・副分科会長で整えることもありますので、また引き続いてアドバイスをいただきたいと思いません。

それでは、ちょっと最後に読み上げたいと思います。

「大規模災害に備え、コロナ禍における避難所運営の在り方を早急に検証するとともに、災害に強い河川、排水、道路の整備に努めること」。以上です。きれいにまとめました。

○予算決算副委員長（伊藤 壽君） 見出しみたいなのはないですか。

○分科会長（天羽良明君） 確かに見出しが要りますね。

避難所の整備と災害に対応できる河川、道路の構築。

〔発言する者あり〕

題はいかがしましょう。

〔発言する者あり〕

大平副分科会長、何かありますか。

○副分科会長（大平伸二君） 「大規模災害に備えるために」、それでいいんじゃないですか。

本当にそのとおり。提言なので、「大規模災害に備えるために」という題目でこの文章でいいんじゃないですかと私は思いますけど。

○分科会長（天羽良明君） このタイトルでよろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

○分科会委員（田原理香君） ちょうど国土強靱化地域計画にもありました。

○分科会長（天羽良明君） それではタイトルのほうは、「大規模災害に備えるために」ということで、この分科会から提言を予算決算委員会のほうに送らせていただきます。

そのほかはよかったですでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、提案の内容については、9月15日の予算決算委員会において報告いたします。また、提案内容の表現等の一部の変更は、正・副分科会長に御一任をいただきたいと思いませんが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

本日はこれにて散会をいたします。お疲れさまでした。

閉会 午後1時48分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年9月10日

可児市予算決算委員会第1分科会長